

外国人留学生入学試験 2025 年度過去問題（日本語作文）

第 I 期 日本語作文

問. 次は、作家の人が書いた、旅行嫌いである理由を説明した意見文です。この文章を読んで、この人の考えに反対する意見文を、600字以上、800字以下で書いてください。その時、反対の理由も書いてください（句読点も1字として数えます）。

旅行に行くと、仕事や勉強から解放され、リフレッシュできるといわれています。一方で、家に帰れば「やっぱり家が一番」とほっとすることもあります。旅行って、実はそんなに好きじゃないのかもしれないですね。

僕が旅行嫌いである一番の理由は「不便」だからです。家であれば快適に過ごすために用意されているものを、持って行かなければいけない。「忘れていないか」と考えなければいけない。汚れ物も持ち歩かないといけない。

もう一つは、旅行はどこかに「行く」ことをしなければならない。そのために乗り物やホテルを予約したり、「何時までにどこに行かないか」と計画したり。タクシーを呼んでも、「道に迷うんじゃないか」とドキドキする。不安が山積みです。しかも、「必ず帰る」という重い十字架を背負うことになります。こうなると、もう旅行は「遊び」じゃない。仕事以上に面倒くさい。海外旅行になると、さらに不便も不安も増大します。

それに僕は「消費」したくないんです。何かを生み出す方が楽しい。ふと景色を見て、心の中に「いいなあ」と湧いてくるのは自分の内側から発生する「生産」ですが、観光地の人工的な珍奇な所に身を置くのは「消費」と感じます。

ぼく かん にちじょう ふまじめ さっか なんじ い
僕がこう感じるのは、日常が不真面目だからでしょう。作家には「何時にここに行かなければ」という

しば ふだん かいほう りょこうぎら い
縛りはあまりありません。普段から解放されているから、「旅行嫌い」なんて言えるのかもしれませんが。

ぼく はっさん いえ なか そうぞうりよく かいほう しこう か おな
僕にとっての発散は、家の中で想像力を解放して思考したり、ものを書いたりすることです。同じよ

いえ はっさん そと うつくつ ひと ぎゃく ひと
うに、家で発散して外で鬱屈する人もいれば、逆の人もいる。

じぶん みきわ だいじ まわ あ りょこう い
自分がどちらか、見極めることが大事なのではないでしょうか。なんとなく周りに合わせて「旅行に行か

おも ひつよう いえ はっさん どうどう いえ あそ
なきゃ」と思う必要はないし、もし「家で発散」するタイプであったなら、堂々と家で遊ぶことをおすすめ

します。

(出典:「旅行、そんなに行きたい?不便だし面倒なのに 作家・町田康さんに聞く」『朝日新聞』2023年11月1日朝刊、15面。問題作成のため、一部変更・省略した。)承認番号(24-3165)